

結 果 報 告

大会名	平成28年度第68回日本ハンドボール選手権大会				
競技日	12月23日(金)	試合番号	せ	回戦	3
種別	男子・ 女子	会場	アソカタ八王子 ・駒沢体育館		
Aチーム			Bチーム		
大阪体育大学			広島メイプルレッズ		
得点合計	小計		小計	得点合計	
23	14	前半	11	20	
	9	後半	9		
		第1延長(前半)			
		第1延長(後半)			
		第2延長(前半)			
		第2延長(後半)			
		7mTC			

【 戦 評 】

記載者氏名

草川 和真

昨日JHL飛騨高山に勝利した大体大、その勢いのまま序盤から試合の流れを掴む。7番佐々木の豪快なステップシュートを皮切りに、6番谷のゲームメイクでポストやサイドも絡めた多彩な攻撃と、GK馬場の再三の好セーブで、前半20分で5点差をつける。メイプルも負けじと18番李のフィジカルを生かした個人技や9番門谷の速攻などで応戦するも、チャンスを掴み切れない。前半は14対11で大体大リードで折り返す。両チームともにディフェンスの健闘が光り、ロースコアの展開となる。後半、メイプルの反撃が始まる。7番笠木のミドルシュート、9番の門谷のカットからの速攻で、後半9分、同点に追いつく。そこからは一進一退の攻防が続く。大体大はポストを有効に使って得点、メイプルは18番李の力強いシュートで応戦。しかし、後半18分、メイプルが痛恨の退場者を出す。このチャンスに大体大は一挙に3点差に広げ、このまま突き放すかと思われた。後半25分、大体大が退場者を出し、最大のピンチを迎えるが、ディフェンスを固め、失点をせずに、3点差のまま勝利を掴んだ。両チームともディフェンスの健闘が際立った試合だった。大体大は、2日間にわたりJHLチームに勝ち、準決勝にコマを進めた。